

2003年第33週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
 — 無菌性髄膜炎 —
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 保健所別定点当たり累計表

感染症豆知識

•S A R S

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



（全数情報）

- ・細菌性赤痢が1件報告された。ソネ菌で推定感染地はベトナムである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が9件報告された。血清型は9件ともO157でVT2産生株4件、VT1&VT2産生株5件である。VT2産生株感染者1名（1歳女児）にHUSの発症を認めた。
- ・アメーバ赤痢が4件報告された。推定感染地は国内3件、パラオ1件で、推定感染経路は同性間性的接触、異性間性的接触、飲食等による経口感染（パラオ）である。
- ・急性ウイルス肝炎が1件報告された。A型肝炎で推定感染経路は飲食等による経口感染である。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。孤発例で感染経路は不明である。
- ・HIV感染症が10件報告された。10件とも無症候性キャリアで、推定感染経路は異性間性的接触1件、同性間性的接触8件、不明1件である。
- ・マラリアが1件報告された。熱帯熱マラリアで、推定感染地はタンザニアである。
- ・レジオネラ症が1件報告された。推定感染地は国内で、感染経路は不明である。

（推定される感染地は医師の届出によるものです）

（定点情報）

- ・ほとんどの疾患が減少しており増加の目立つものはない。

（病原体情報）

- ・手足口病1名、ヘルパンギナを伴う手足口病1名、発疹症1名の咽頭拭い液及び無菌性髄膜炎1名の髄液からエンテロウイルスの遺伝子が検出された。手足口病患者からはアデノウイルスの遺伝子も検出された。
- ・上気道炎1名と肺炎1名の咽頭拭い液からアデノウイルスの遺伝子が検出された。
- ・突発疹1名、不明発疹症1名の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出された。
- ・尿路感染症1名の尿からサイトメガロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・無菌性髄膜炎1名の咽頭拭い液と便、髄膜炎1名の髄液からエコーウイルス18型、ウイルス性筋炎1名の便からエコーウイルス9型、咳を伴う突発疹1名の咽頭拭い液からコクサッキーB群4型ウイルス、顔面神経麻痺1名の便からポリオウイルス1型、不明発疹1名の咽頭拭い液、RSウイルス感染疑い1名の鼻汁からアデノウイルス2型、喘息を伴う肺炎1名の咽頭拭い液からアデノウイルス3型が分離された。
- ・菌株で搬入されたMRSAのコアグラゼ型は 型であった。
- ・菌株で搬入されたMSSAのコアグラゼ型は 型であった。
- ・菌株で搬入された溶血性連鎖球菌2株はT12型、T28型各1株であった。
- ・保健所などから搬入された血清106件中35件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。

- ・保健所などから搬入された頸管拭い液等 8件中 2件からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。
- ・ヒトパピロ - マウイルス遺伝子が頸管拭い液 13件中 3件から検出された。

調査票通信 定点医療機関からのコメントを掲載

今週は定点医療機関からのコメントはありません。

全数届出患者数一覧表 2003年33週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マ・ルブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ					2		9
	細菌性赤痢	2	2	2	1	57		258
	腸チフス					14		35
	パラチフス					4		21
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	9	4	1	9	105		1189
四類 (全数届出)	アメ-パ赤痢	1	2	2	4	76		309
	エキノкокクス症							12
	黄熱							
	オウム病							33
	回帰熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	1		1	1	54		491
	Q熱					1		6
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症	1	1			4		5
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2		1	11		73
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					4		38
	後天性免疫不全症候群	9	6	11	10	216		522
	コクシジオイデス症							1
	ジアルジア症	1		1		24		64
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎					3		12
	先天性風疹症候群							1
	炭疽							
	ツツガムシ病							134
	デング熱		1	1		10		21
	日本紅斑熱							19
	日本脳炎							
	乳児ボツリヌス症							
	梅毒		4			48		304
	破傷風					3		40
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		42
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症								
発疹チフス								
マラリア		1	2	1	21		47	
ライム病							4	
レジオネラ症			1	1	9		79	
ウエストナイル熱								

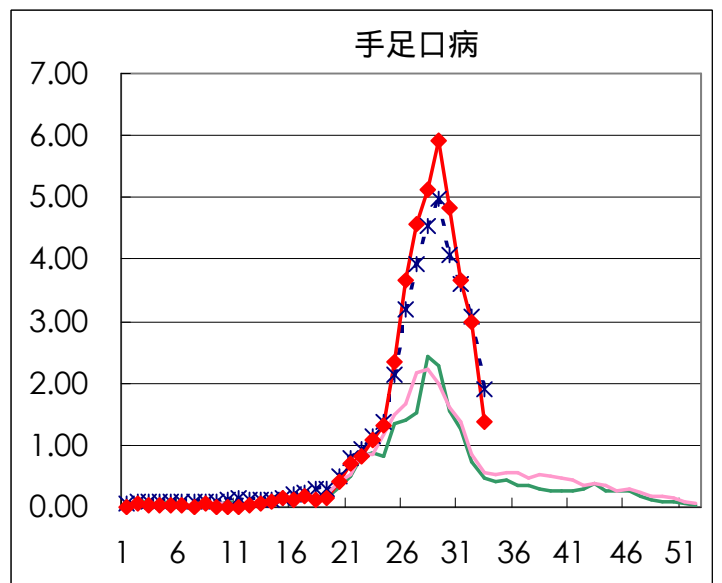
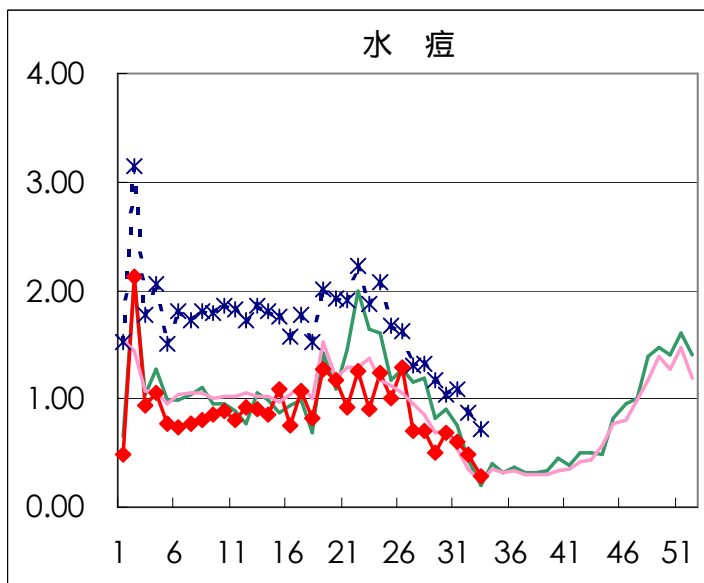
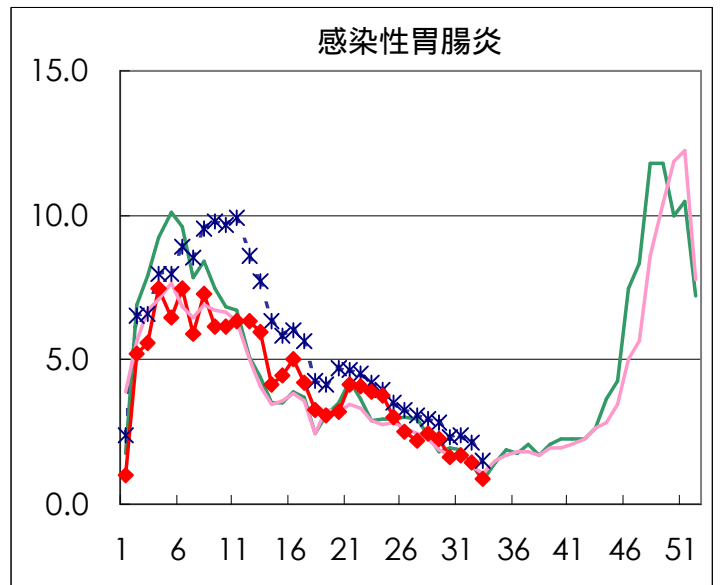
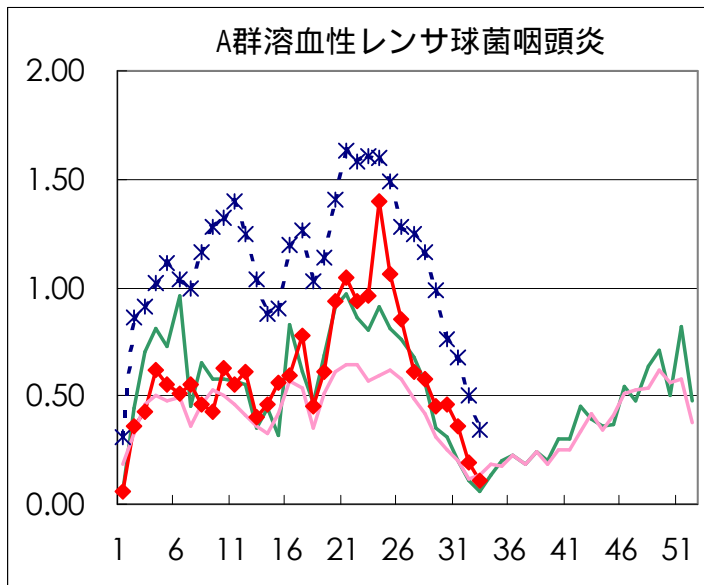
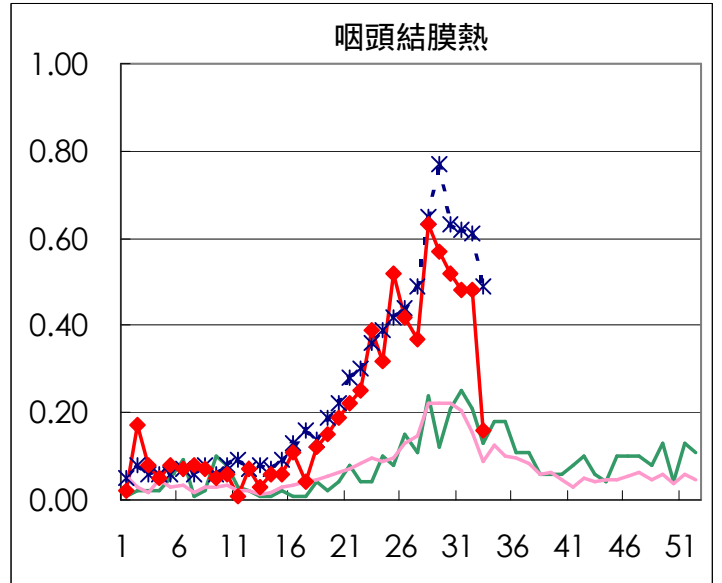
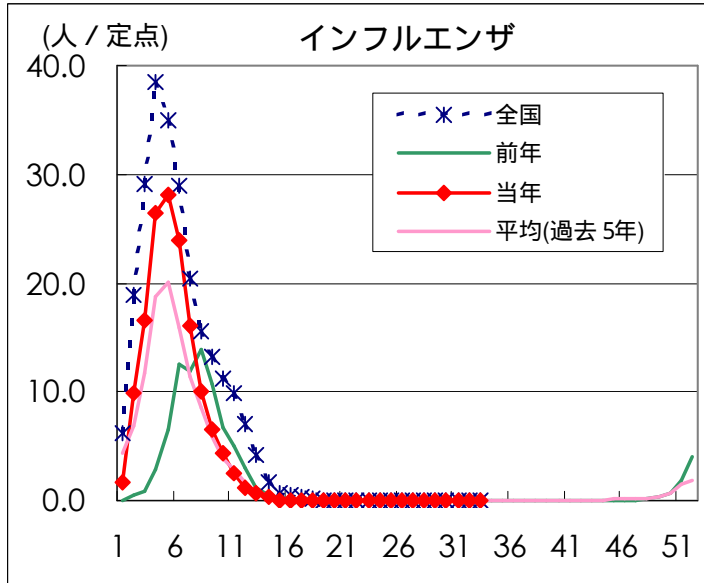
医師からの追加届出により増加することがあります(2003/08/20集計)。

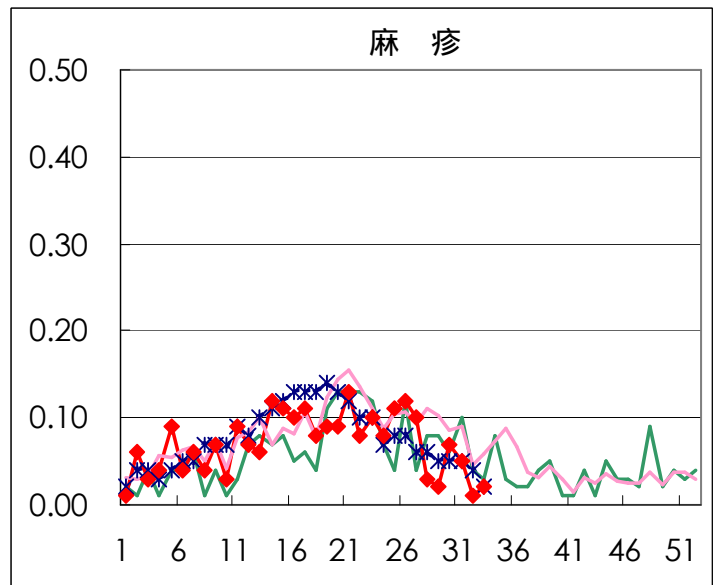
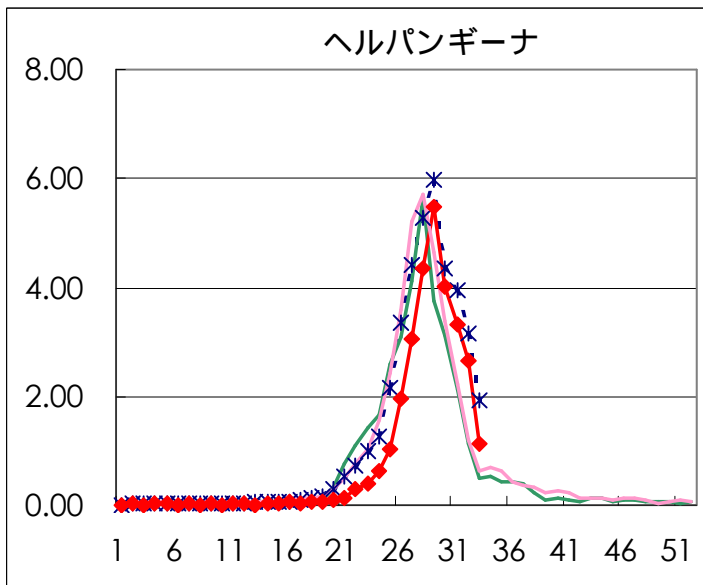
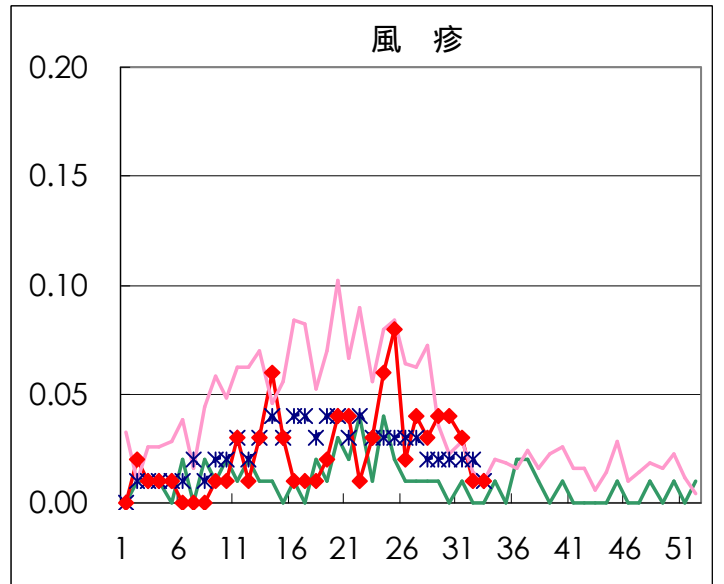
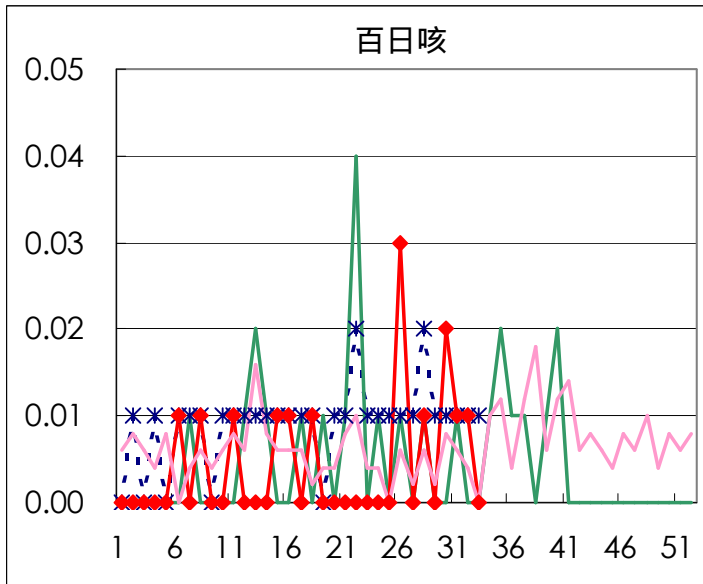
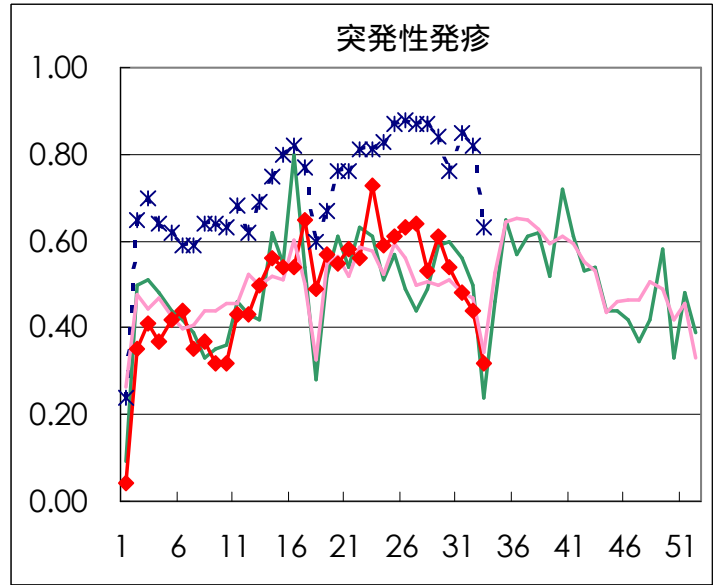
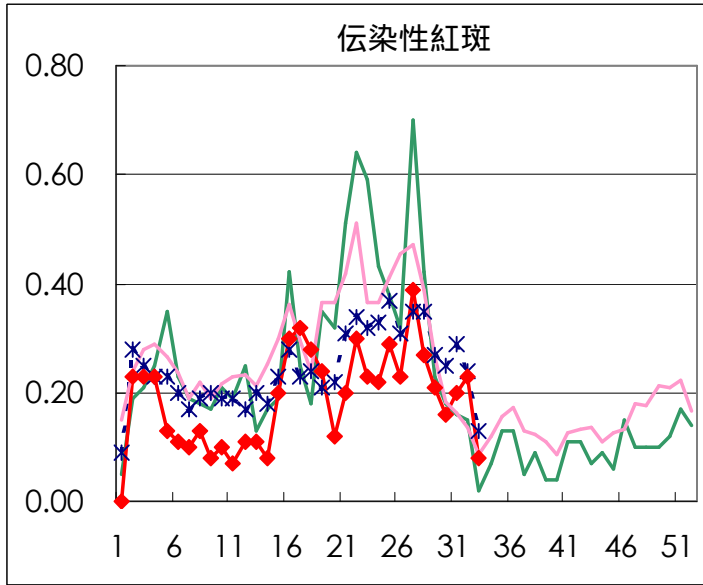
定点報告疾病集計表（男女別）

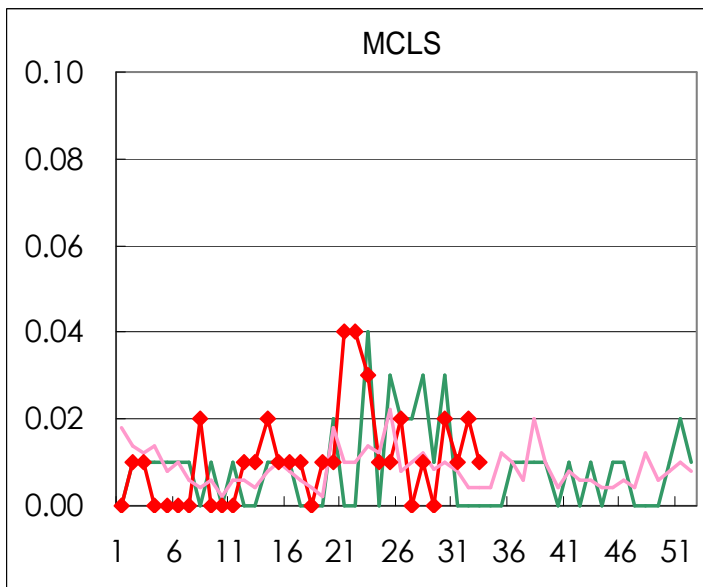
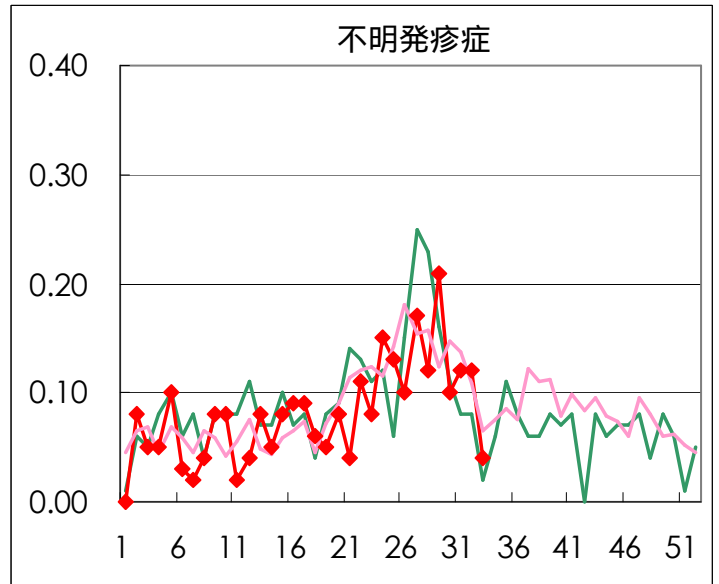
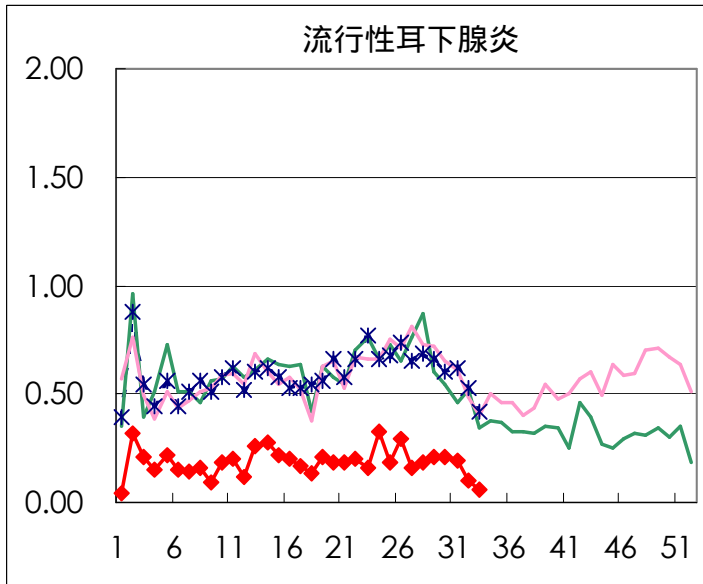
疾病名	性	2003年 週				4週合計	年累計
		30	31	32	33		
インフルエンザ	男						13,398
	女						13,078
咽頭結膜熱	男	39	38	45	16	138	548
	女	35	30	23	7	95	433
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	38	24	15	9	86	1,442
	女	28	27	12	6	73	1,295
感染性胃腸炎	男	127	128	101	66	422	10,181
	女	102	116	104	55	377	9,491
水痘	男	45	52	46	22	165	2,272
	女	53	34	23	18	128	1,936
手足口病	男	353	264	225	104	946	3,101
	女	334	256	198	93	881	2,587
伝染性紅斑	男	7	13	20	4	44	438
	女	16	15	13	8	52	440
突発性発疹	男	40	39	39	22	140	1,123
	女	36	29	23	24	112	1,136
百日咳	男	3	1	2		6	14
	女		1			1	5
風疹	男	1	2		1	4	52
	女	5	2	1		8	52
ヘルパンギーナ	男	312	250	196	75	833	2,172
	女	259	223	180	85	747	1,981
麻疹(成人以外)	男	3	4	2	3	12	168
	女	7	3			10	160
流行性耳下腺炎	男	15	15	8	4	42	501
	女	15	12	6	4	37	366
不明発疹症	男	6	8	9	2	25	193
	女	8	9	8	4	29	188
M C L S	男	2	1	3	1	7	23
	女	1			1	2	24
急性出血性結膜炎	男						8
	女						7
流行性角結膜炎	男	12	17	12	6	47	327
	女	5	7	5	7	24	227
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男						2
	女						1
細菌性髄膜炎	男						5
	女						6
無菌性髄膜炎	男			2	2	4	22
	女		2	2	1	5	12
マイコプラズマ肺炎	男	1	3	2		6	40
	女		5	1		6	42
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男		1			1	2
	女						
成人麻疹	男		1			1	75
	女		1			1	60

疾病別グラフ (四類定点週報告分)

小児科・インフルエンザ定点

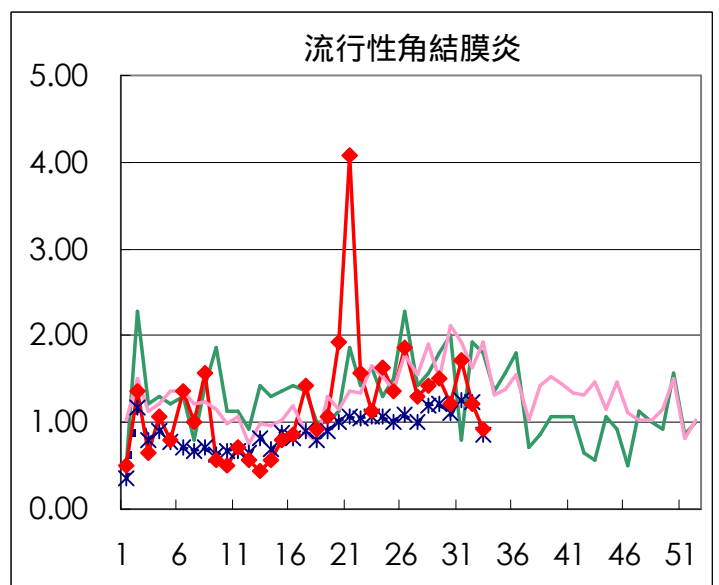
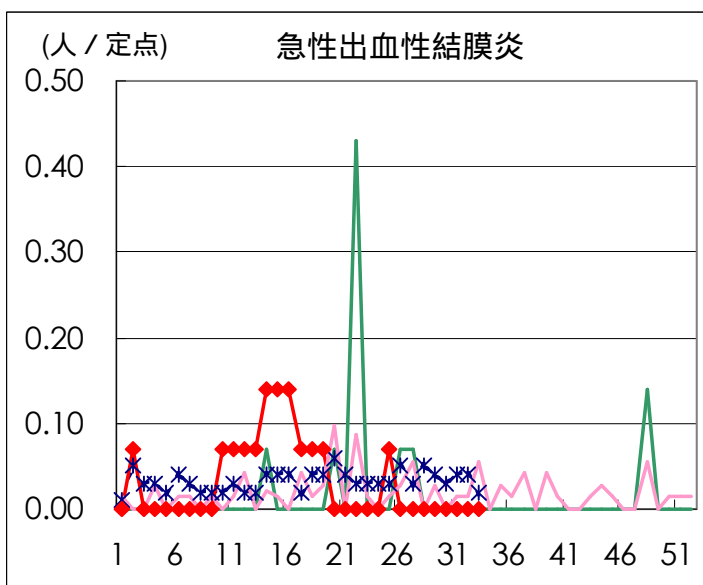




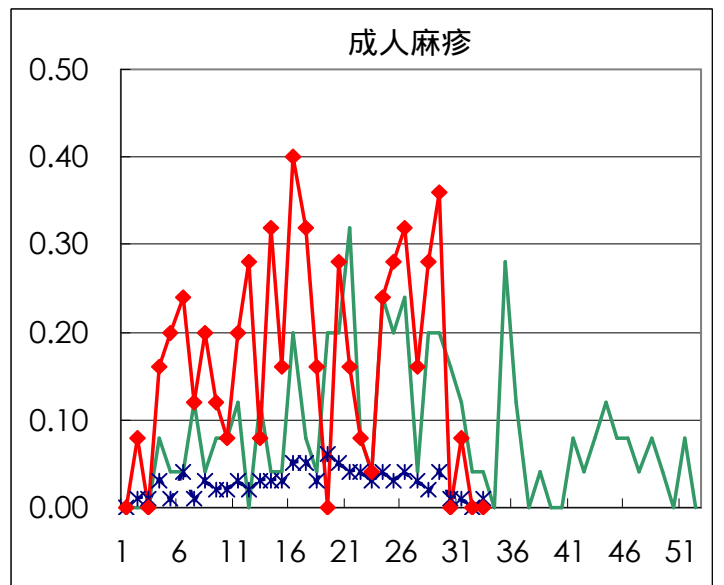
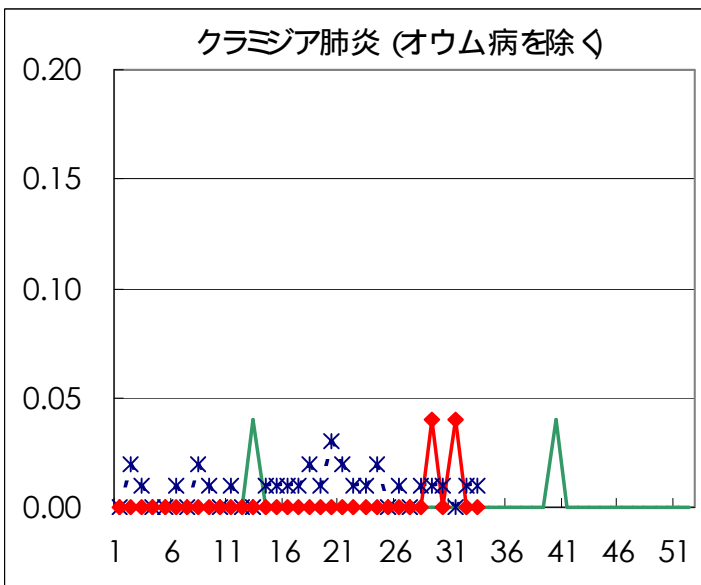
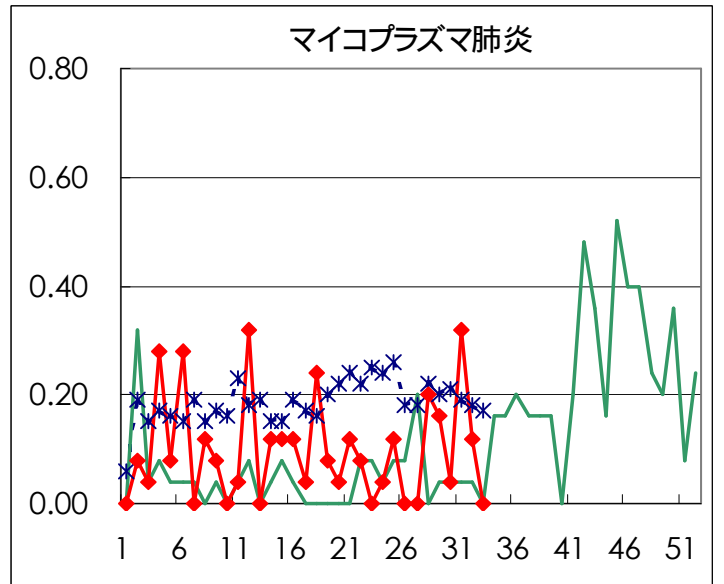
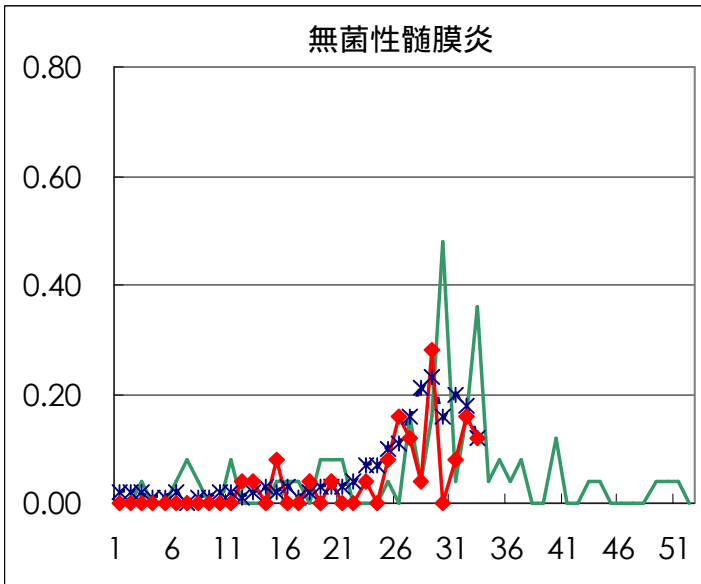
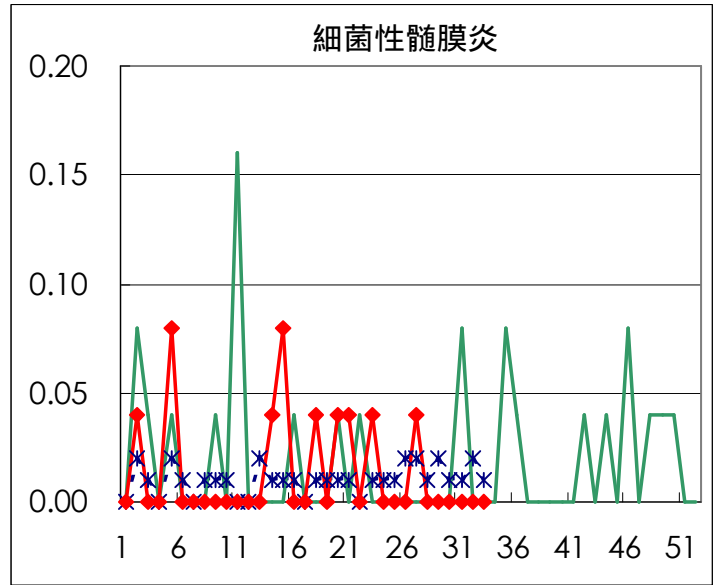
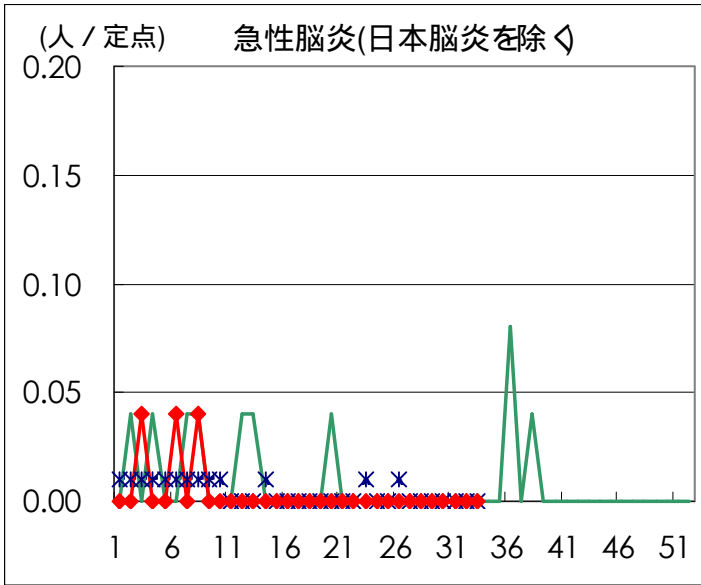


疾病別の定点医療機関数 (週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
小児科	成人麻疹	142
	上記を除く疾病	

眼科定点



基幹定点



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2003年 26~ 33週)

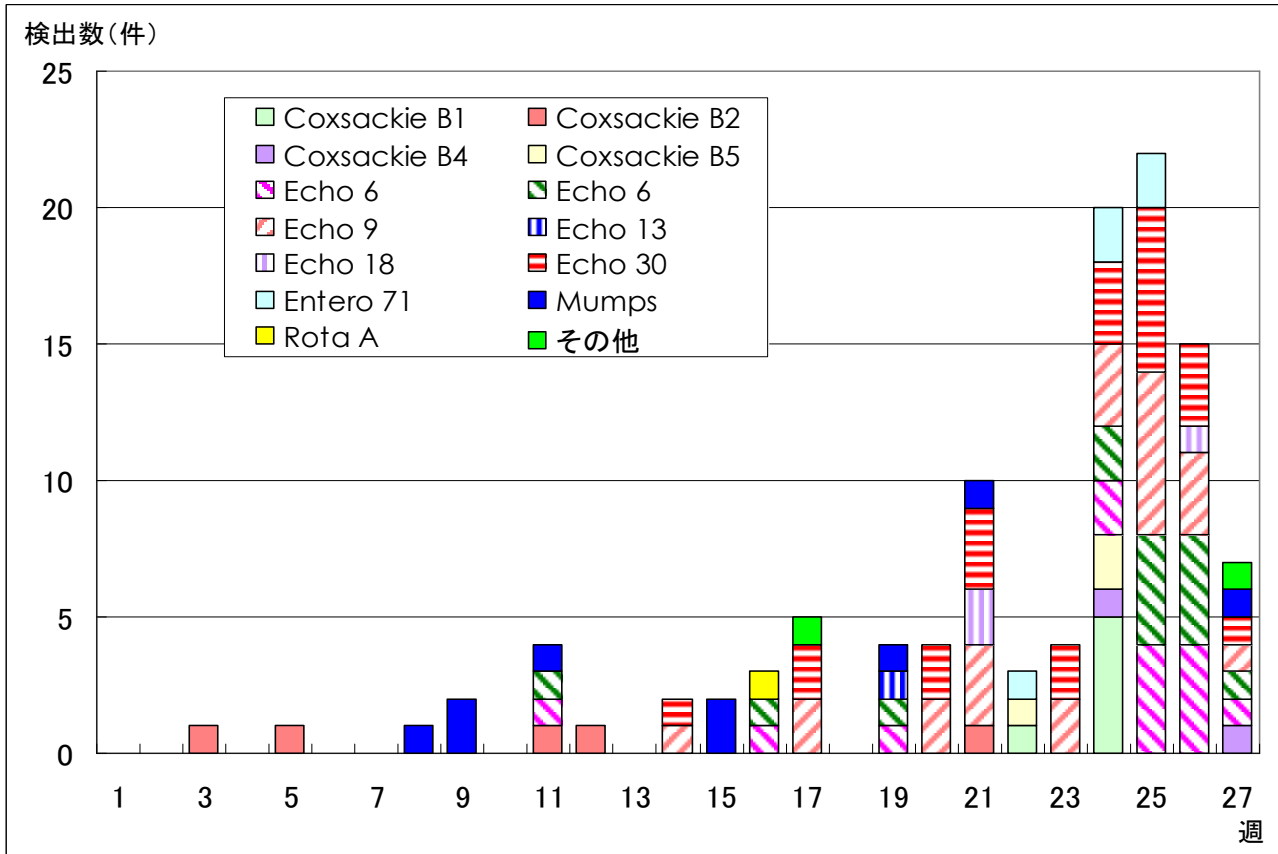
検出病原体 抗体		検体採取週								合計
		2003年								
		26	27	28	29	30	31	32	33	
ウイルス	インフルエンザAソ連型									
	インフルエンザA香港型									
	インフルエンザB型									
	RSV				1					1
	アデノ	5	2	5	4	5		4	3	28
	エンテロ	3	6	3	28	43	2	9	4	98
	ノーウォーク (SRSV)	2	14							16
	ロタ				1					1
	単純ヘルペス									
	水痘 帯状疱疹									
	EBV	1	1			1	1			4
	CMV		1			1		1	1	4
	HHV6/7	2	2	3	3	3	3	2	2	20
	ムンプス			2						2
	麻疹	1	1		1	1				4
	パルボB19			1						1
	分離型別	ポリオ1								
		ポリオ2								
		アデノ1								
		アデノ2	1	2	1		1		1	6
		アデノ3	2	2	4		4			12
		エコー13								
		コクサッキー-A6								
	抗体	デング					2			2
		ツツガムシ								
	電顕									
	細菌	カンピロバクター								
サルモネラ										
下痢原性大腸菌										
エロモナス										
O157										
MRSAコアグララーゼ 型					1	1			2	
MRSAコアグララーゼ 型		2	3	2		3	2	3	15	
MRSAコアグララーゼ 型						1			1	
MSSAコアグララーゼ 型										
溶連菌 T-1型			1			1			2	
溶連菌 T-3型										
溶連菌 T-4型						1	1		2	
溶連菌 T-6型										
溶連菌 T-12型			1	2		2	1		7	
溶連菌 T-22型										
溶連菌 T-25型										
溶連菌 T-28型		1						1		
溶連菌 UT										
性感染症	梅毒		1	1	1				3	
	クラミジア抗体	18	20	27	14	10	18	17	35	
	クラミジア遺伝子	6	4	2		1	1	1	2	
	淋菌遺伝子	1	2				2	2	7	
	パピローマ	4		3	4	4	3	3	3	

臨床診断名別病原体検出結果 (2003年 26~ 33週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を 含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	球菌性咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型																		
インフルエンザB型																		
RSV		1																1
アデノ		7	5			7				1		1					7	28
アデノ1																		
アデノ2		1	1									1					3	6
アデノ3		3	5			1			3	6								12
エンテロ		10	6			1	34	4	6	10		10					17	98
エコー 13																		
コクサッキー A6																		
ポリオ 1																		
ポリオ 2																		
ムンプス													2					2
ノーウォーク (SRSV)						16												16
ロタ						1												1
単純ヘルペス																		
水痘 帯状疱疹																		
パルボ B 19												1						1
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
下痢原性大腸菌																		

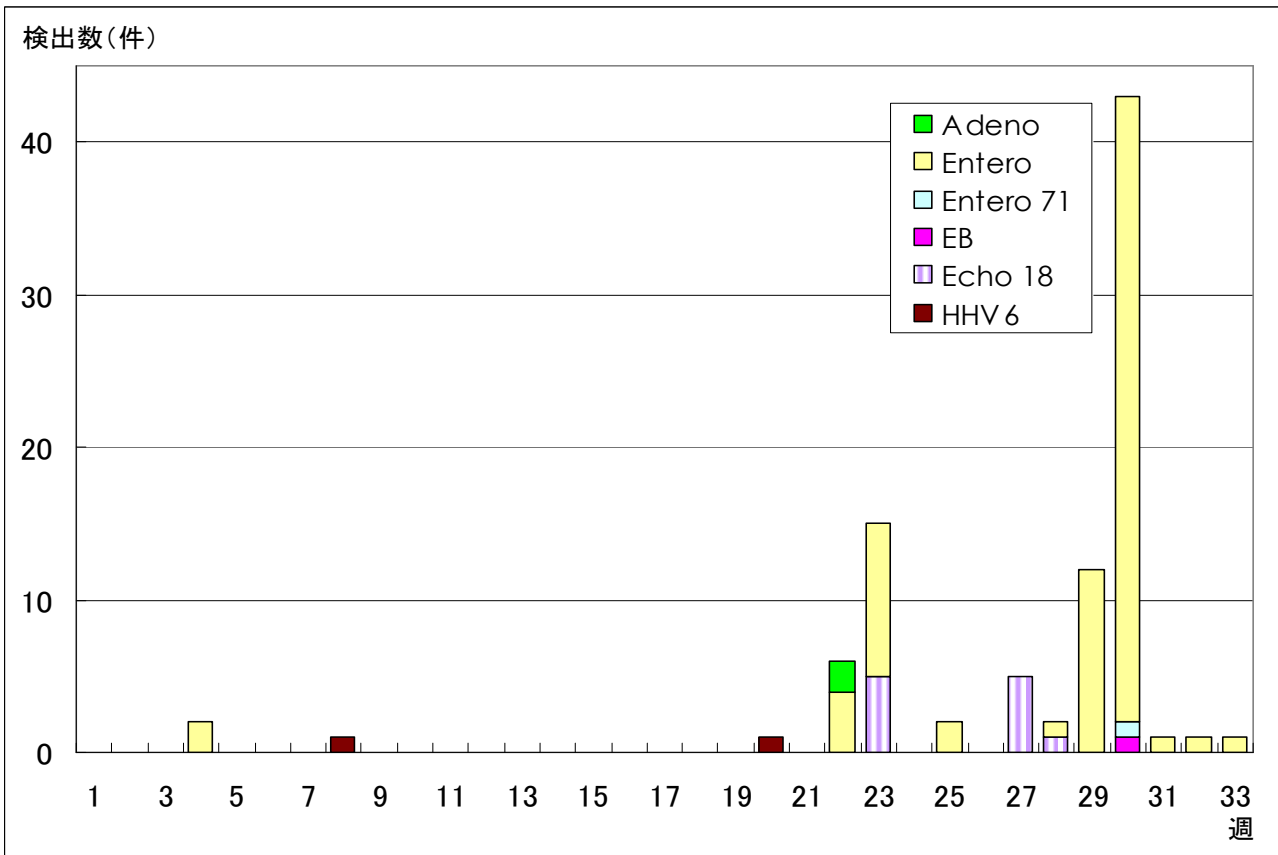
病原体グラフ（無菌性髄膜炎）

無菌性髄膜炎患者から検出されたウイルス（全国）



LASR 病原微生物検出情報(2003年7月24日現在報告数)

無菌性髄膜炎患者から検出されたウイルス（東京都）



微生物部ウイルス研究科

年齢階級別累計表 (2003年 33週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月						2		4			3					1	
～1歳		1		11	6	12		26			20				1	1	
1歳		6		20	8	56		15			38		2			2	
2歳		1		11	1	33	2	1			31	1	1				
3歳		2	2	9	11	32	1				27		1		1	1	2
4歳		1	6	9	5	21	2				15						
5歳		3	1	9	5	13	3				9	1	3			1	
6歳		1	2	8		13	3				5		1				
7歳		1		7	1	5					3				1		
8歳				4	1	2	1				2						
9歳		2		3		2					3						
10～14歳		3	1	6	1	4					1	1					
15～19歳			1	3		1											
20～29歳		2	2	21	1	1				1	3					4	
30～39歳																6	
40～49歳																	
50～59歳																	
60～69歳																	
70～79歳																	
80歳以上																	
合計	0	23	15	121	40	197	12	46	0	1	160	3	8	0	13	6	2
先週比	0	-45	-12	-84	-29	-226	-21	-16	-2	0	-216	1	-6	0	-4	-11	-1

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2003年 33週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田					1	6					5							12
中央区			1	9		16		1			2							29
みなと						4					3	1						8
新宿区			1	9		14		2			2				3	2		33
文京		1													5			6
台東		2		12		6		4			12		1					37
墨田区			1								1							2
江東区		1	4	10	2	7	1	6			9		1		2			43
品川区		1		8	5	5	2	3			1	1						26
目黒区				2	1	3												6
大田区				6	1	4		2			3							16
世田谷区				13	3	11	3	1			8		1				2	42
渋谷区				7	1	14		1			5							28
中野区		1		9	2	9		2			11					1		35
杉並				2		2												4
池袋		1				2					1							4
北区				1		9		3			10							23
荒川区																		
板橋区		1		1	1						5							8
練馬区		1			2	7	1	1			4							16
足立				6	3	9		3			3		1					25
葛飾			6	4	3	18		6			12		3			2		54
江戸川					2	2		1			2							7

保健所別累計表 (2003年 33週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川		1				4		2			1							8
秋川				3	1	1							1					6
八王子					1	5	3	1			4							14
南多摩				6		5					6							17
町田				3	1						3				1	1		9
多摩立川		3	1	3	1	4					1							13
村山大和																		
府中小金井		2		1	1	3		2			1							10
狛江調布		1		1	4	14	1				2							23
三鷹武蔵野				2	2	7		2			3	1			2			19
多摩小平		7		1	2	2		2			10							24
多摩東村山			1	2		2	1	1		1								8
島しょ						2					30							32

東京都合計	-	23	15	121	40	197	12	46	-	1	160	3	8	-	13	6	2	647
定点当り報告数	-	0.16	0.11	0.85	0.28	1.39	0.08	0.32	-	0.01	1.13	0.02	0.06	-	0.93	0.04	0.01	

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 33週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田					0.25	1.50					1.25						
中央区			0.33	3.00		5.33		0.33			0.67						
みなと						0.67					0.50	0.17					
新宿区			0.17	1.50		2.33		0.33			0.33				1.50	0.33	
文京		0.33													5.00		
台東		0.67		4.00		2.00		1.33			4.00		0.33				
墨田区			0.33								0.33						
江東区		0.33	1.33	3.33	0.67	2.33	0.33	2.00			3.00		0.33		2.00		
品川区		0.17		1.33	0.83	0.83	0.33	0.50			0.17	0.17					
目黒区				0.67	0.33	1.00											
大田区				0.67	0.11	0.44		0.22			0.33						
世田谷区				1.63	0.38	1.38	0.38	0.13			1.00		0.13				0.25
渋谷区				1.75	0.25	3.50		0.25			1.25						
中野区		0.17		1.50	0.33	1.50		0.33			1.83					0.17	
杉並				0.33		0.33											
池袋		0.20				0.40					0.20						
北区				0.25		2.25		0.75			2.50						
荒川区																	
板橋区		0.17		0.17	0.17						0.83						
練馬区		0.20			0.40	1.40	0.20	0.20			0.80						
足立				1.50	0.75	2.25		0.75			0.75		0.25				
葛飾			1.50	1.00	0.75	4.50		1.50			3.00		0.75			0.50	
江戸川					0.50	0.50		0.25			0.50						

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 33週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川		0.33				1.33		0.67			0.33						
秋川				1.50	0.50	0.50							0.50				
八王子					0.50	2.50	1.50	0.50			2.00						
南多摩				2.00		1.67					2.00						
町田				1.50	0.50						1.50				1.00	0.50	
多摩立川		0.75	0.25	0.75	0.25	1.00					0.25						
村山大和																	
府中小金井		0.67		0.33	0.33	1.00		0.67			0.33						
狛江調布		0.33		0.33	1.33	4.67	0.33				0.67						
三鷹武蔵野				0.50	0.50	1.75		0.50			0.75	0.25			2.00		
多摩小平		2.33		0.33	0.67	0.67		0.67			3.33						
多摩東村山			0.33	0.67		0.67	0.33	0.33		0.33							
島しょ						2.00					30.00						

東京都合計	-	23	15	121	40	197	12	46	-	1	160	3	8	-	13	6	2
定点当り報告数	-	0.16	0.11	0.85	0.28	1.39	0.08	0.32	-	0.01	1.13	0.02	0.06	-	0.93	0.04	0.01

S A R S

東京都医師会感染症予防検討委員会

S A R S (Severe Acute Respiratory Syndrome)は2003年3月15日、WHOの緊急旅行勧告の中で症例定義された症候群である。3月上旬ベトナム・ハノイで、香港等を旅行したアメリカ人を初発患者として約20人の病院スタッフがS A R Sの症状を示した。また同時期に香港の病院でやはり約20人の病院スタッフが同様の症状を示した。

原因不明、抗生物質が無効で治療法が不明、重症例・死亡例もあり更にカナダやシンガポールでも同様の症状を示す患者が発生するという状況であった。香港は航空路線の拠点であり航空輸送が発達した現代では、容易に世界に感染症が拡大するという脅威が明らかになった。

しかしその後の調査や研究で、原因はコロナウイルス科のウイルス感染であることが判明した。10カ国13研究所が協力して研究にあたった結果、ウイルス確定まで要した時間はわずか1ヵ月程度という短期間であった。また致死率はWHOによると全年齢で14～15%と推計され(5月7日現在。年齢層により異なる。)低くはないが、一方で自然治癒する症例も多いことが解ってきた。主要な感染経路として飛沫感染が想定されているが、マスク等の適切な防護策を講じることで、医療従事者への二次感染を防ぐことが可能と考えられる。

中国広東省では昨年11月よりS A R S患者が発生していたが、クラミジアが原因とされ流行は終息したと当初発表されていた。しかし5月8日現在中国はS A R Sに関し深刻な状況に陥っており、初動体制と情報開示の重要性が示唆されている。

(文責・大石 修)